



大角裕二《蒔絵乾漆箱「秋水」》東京都教育委員会賞

第42回 日本伝統漆芸展

2025年

2月1日 **土** → 2月24日 **月・振休** 会期中無休

開館時間 9:00-17:00 最終日は16:00閉館
(入館は閉館の30分前まで)

会場 石川県輪島漆芸美術館

入館料 一般630円(520円) 高大学生320円(210円)
小中学生150円(100円)

* ()内は20人以上の団体料金

列品解説

2月2日(日) 田中義光氏

2月16日(日) 寺西松太氏

【いずれも13:30から *要入館券】

主催 公益財団法人輪島漆芸美術館 公益社団法人日本工芸会

後援 文化庁 石川県 石川県教育委員会 輪島市 輪島漆器商工業協同組合 朝日新聞社

公益財団法人岡田茂吉美術文化財団 北國新聞社 NHK 金沢放送局

Wajima Museum of Urushi Art
石川県輪島漆芸美術館

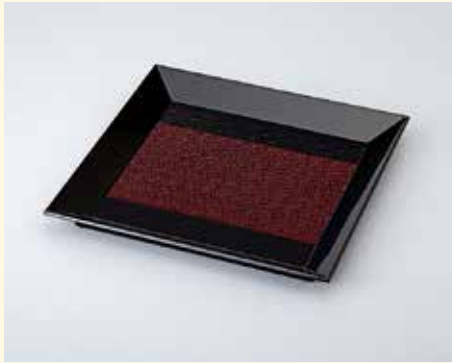
〒928-0063 石川県輪島市水守町四十荇11番地
TEL 0768-22-9788 FAX 0768-22-9789
<https://www.art.city.wajima.ishikawa.jp/>

第42回 日本伝統漆芸展

会 期 2025年2月1日(土)-2月24日(月・振休)
会期中無休
開館時間 9:00-17:00 最終日は16:00閉館
入館は閉館の30分前まで

日本を代表する工芸として、永い歴史をもつ漆芸。日本伝統漆芸展は日本伝統工芸展の漆芸部会展として、伝統の継承とその錬磨、現代への応用を目指して開かれています。第42回となる今回は、東京・輪島・高松の3会場を巡回し、受賞作7点を含む全82点を展示いたします。

重鎮から新進まで漆工芸への飽くなき挑戦がうかがわれる本展覧会は、後継者育成に大きな貢献を果たしています。各地の伝統が育んだ地域性をも展望することができるまたとない機会です。磨き抜かれた技と美への探究を、どうぞ心ゆくまでご鑑賞ください。



網代方盆
小森邦衛 (重要無形文化財保持者)



沈金棗「千鳥」
前 史雄 (重要無形文化財保持者)



漆象嵌銘々盆「玉響」
山岸一男 (重要無形文化財保持者)



文部科学大臣賞
彫漆流動文鉢／北岡省三



沈金箱「仙人掌」
西 勝廣 (重要無形文化財保持者)



奨励賞 石川県輪島漆芸美術館賞
乾漆盤「夜航」／伴野 崇

メモリアルパネル展

会期 2月1日(土)→2月11日(火・祝)
会場 当館講義室 *入場無料

輪島市内の小学6年生が卒業制作として、輪島沈金業組合の皆さんの指導のもと、漆塗りパネルに思い思いのデザインを沈金で表現しました。個性あふれる力作をぜひご覧ください。

列品解説のご案内

下記出品者による展示作品の解説を行います。
いずれも13:30から *要入館券

2月2日(日) 田中 義光 氏(鑑査委員)
2月16日(日) 寺西 松太 氏(審査・鑑査委員)



Wajima Museum of Urushi Art 石川県輪島漆芸美術館

〒928-0063 石川県輪島市水守町四十苅11番地
TEL 0768-22-9788 FAX 0768-22-9789
URL <https://www.art.city.wajima.ishikawa.jp/>



のと里山空港から 車(約30分)
金沢駅から 北鉄バス輪島特急線を利用(輪島ふらっと訪夢 輪島駅前まで約3時間)
金沢市内から のと里山海道を利用(約2時間)
「道の駅・輪島ふらっと訪夢 輪島駅前」から 徒歩(約25分)
※所要時間は道路状況により前後する可能性があります。